

ミスター・サンドマン

ミスター・サンドマン、
わたしに夢を見させて
あのひとを、今まで出逢った誰よりもステキにして
薔薇やクローバーみたいにキュートな唇をあげて欲しいの
それから彼に伝えて、もうひとりぼっちじゃないって

サンドマンさん、
わたしホントに寂しいの
恋人と呼べるひとがないから
お願い、魔法のビームを出して
ミスター・サンドマン、ステキな夢を見させて

ミスター・サンドマン、
わたしに夢を見させて
あのひとを、誰よりもステキにして

彼にちゃんと伝えて、
わたしはよそ見なんてしないって
彼に云ってよ、
もうひとりぼっちじゃないって

サンドマンさん、
わたしホントに寂しいの
恋人と呼べるひとがないから
だからお願い、魔法のビームを出して
ミスター・サンドマン、ステキな夢を見させて

ミスター・サンドマン、
わたしたちに夢を見させて

あのひとに、キラキラ美しく輝く2つの瞳をあげてよ
彼を「道化師」のパグリアッチみたいな寂しがり屋にして
そして髪はフサフサのリベラーチェみたいなものにして

ミスター・サンドマン、
抱きしめてくれるひとが必要なの
ふたりが歳を取りすぎてしまう前に
素敵なお話をたくさんするの

だからお願い、魔法のビームを出して
ホントにホントにお願いだから
ステキな夢を見させて